

=(第1号様式)=

様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 4 月 28 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 橿原市醍醐町338番地の1	
氏 名 株式会社 ウエヒラ 代表取締役 植平清延	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0744-24-3071	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5条の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ウエヒラ
事業場の所在地	橿原市醍醐町338番地の1
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	令和6年度 生コンクリート製造販売売上高 140000 万円
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリートがら→再生処理業者に依頼し再資源化 ・骨材分級回収装置による骨材の再資源化 ・戻りコンクリート→1m3ブロックを作成し再商品化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

公害防止統括者 社長
↓
公害防止担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	排出量	2575 t	— t
	(これまでに実施した取組) ・ 残コン、戻りコンをm3ブロックに作成し再商品化 ・ 主たる廃棄物の発生元が戻りコンであるため、納入先に対する発生低減のPR		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	排出量	2400 t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き、残コン、戻りコンをm3ブロックに作成し再商品化 ・ 戻りコンの発生低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1203 t	— t
	（これまでに実施した取組） 再利用可能な残コン、戻りコンは、出来るだけm3ブロックを作成し再商品化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1300 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 前年に引き続き、m3ブロックの作成		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	全処理委託量	1372 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	1372 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	再利用可能な残コン、戻りコンによりm3ブロックを作成数の向上		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	全処理委託量	1100 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	1100 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	前年に引き続き、m3ブロックを作成し再商品化		
※事務処理欄			